

前期主題 「あなたの歩みを主は守られる」 (ガラテヤの信徒への手紙 6 章 9 節)
“The Lord will protect your steps.” (Galatians 6:9)

主題聖句 たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることになります。
(ガラテヤの信徒への手紙 6 章 9 節)

編集 広島女学院大学宗教委員会 〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1 TEL (082) 228-0386
http://www.hju.ac.jp/ E-mail:hjucac@gaines.hju.ac.jp

「あなたの歩みを主は守られる」

人文学部 日本文化学科 前田 美和子 先生

小さな犬 アマンディーナ

私の本棚に『アマンディーナ』(セルジオ・ルツィア作、光村教育図書、2013年)という絵本があります。

アマンディーナはいろんなことができる小さな犬です。しかし、誰もアマンディーナのことを知らないで、アマンディーナがいろんなことができることを知る者は、誰一人いません。

ある日アマンディーナは「はずかしがることは やめよう」と、一念発起してショーを開くことにします。一からすべて準備し、山ほど招待状を書き、町にはポスターも貼りました。

さて、いよいよショーの日を迎えました。ドキドキしながらステージの上に立ち、幕が開きます！が、劇場には誰もいませんでした。アマンディーナは途方に暮れて立ちつくしました。しかししばらくして、アマンディーナは誰もいない会場で 1 人 (1 匹?)、準備してきたすべてを一生懸命演じることにしました。そこにゴキブリが 1 匹出てきて、ステージを見て驚きます。すぐに友だちを呼び、その友だちは別の友だちを呼び…

準備したすべての出し物を力いっぱい演じ、誰もいないはずの観客席に向かってアマンディーナは深々とお辞儀をしました。すると、いつの間にかいっぱいになっていた劇場から、割れるような拍手が聞こえてきました。ここで、絵本の挿絵にはいろんな動物が楽しそうに、大喜びで拍手をしている様子が描かれています。でも、絵本の締めくくりの一文はこうです。「アマンディーナは、このまちのだれよりも しあわせでした」。

コロナ禍で、繰り返し読んだ 1 冊です。

3 年前の 4 月、今の 4 年生が入学し、オリエンテーションを行ってすぐに、本学も遠隔授業に切り替わりました。1 年生のみなさんも、高校に入ってから遠隔授業になったのではないのでしょうか？これまで、当たり前前に学内に響いていた笑い声も消え、微笑みながら挨拶してくれる皆さんにも、まったく会えない毎日でした。そんな中、苦手なパソコン操作に、毎週何日も徹夜をしながら授業の準備を行っていました。これまでなら教室でみんなの顔を見ながら授業を行っていたのに、ただひたすらに部屋にこもって一方的にパソコンに向かって話しかける日々。「この方法で大丈夫だろうか」「パソコンの向こう側で、みんなはどんな様子なのだろう」「他の先生は、きっともっとわかりやすく良い教材を作っておられるだろう」と等々、不安になりながらいろいろのことを考えました。そんな時に、絵本を含めた何冊かの本は、私になすべきことを示してくれました。『アマンディーナ』もその 1 冊で、何度も私を励ましてくれました。

ガラテヤの人々と私たちにつづること

さて、今学期の主題聖句は、使徒パウロによって記された「ガラテヤの信徒への手紙」の一節です。パウロは 2 度にわたってガラテヤという地域を訪れ、宣教活動を行いました。し

かしパウロがガラテヤを去った後、パウロの教えとは異なる教えが広がり、人々は混乱してしまいました。自分の柱とも言える信仰心が揺さぶられる中、ガラテヤの人々はどう生きることが正しいかわからなくなってしまったのです。そんな人々に、パウロは愛の実践による新しい生き方の重要性を説いたのです。それが、この「ガラテヤの信徒への手紙」です。

コロナ禍は私たちにとっても混乱の時でした。変化に柔軟に対応できる人もいる一方で、これまでの自分や生活を守ろうとしたり、それらの狭間で不安を抱いて途方に暮れた人、価値観が揺さぶられた人もいるでしょう。こういった様は、パウロが手紙を送った頃のガラテヤの人々に共通していることがたくさんあると言えます。

どうすることがいいかわからない、そんな状況下で「自分はこうするんだ」と決心することは勇気がいりますし、その思いや行動を継続するのはなかなか大変なことであると想像できます。アマンディーナもガラテヤの人々も、きっとそうだったでしょう。3 年前の私はそのあたりでフワフワしてしまうことがあったので、誰かの評価や目を気にせず、また自分の小ささを卑下するでもなく、ひたすら励み続け、結果多くの人たち(動物たち)に笑顔と喜びを与えた『アマンディーナ』に励まされたのですけどね。

そんな私たちにパウロは語りかけます。「たゆまず善を行いましょ。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取るようになります」(ガラ6:9)。

ヘレン・ケラー氏からのメッセージ

みなさんはヘレン・ケラーさんをご存知ですか？伝記を読まれた方も少なくないでしょう。実は、ヘレン・ケラーさんは本学に来てくださったことがあります。その際、講演でこのようにお話下さいました。

さて只氏今皆様方に必ず覚えて頂きたい大切な事をお話致します。それは自己に與へられてある力をみとめ、信じてそれを伸ばし、その完成に誇りをもつて努力する事でありませ。生涯の目標を定め、その成功不成功を眼中におかず、目的に向かつて不斷の精進を續けて頂きたいのであります。

(「広島女學院新聞 第六十・六十一號」より)

小さなアマンディーナが誰もいない劇場でその力を尽くし終えた時、観客もアマンディーナも幸せで満たされました。あなたにも、神さまからとても素敵な力(賜物)が与えられています。その素敵な力を信じて、磨き続ける日々を歩みましょう。きっとその日々の先には、あなた自身やあなたを必要とする人たち、社会や世界を豊かにし、大きな喜びにつながることでしょ。さあ、今、私たちの目の前には、新たな毎日が広がっています。もう一歩、さらに一歩、踏み出しませんか？大丈夫！あなたの歩みを神さまは守り、支えてくださいます。

春季宗教強調週間

名誉学位授与式・記念講演 **サーロー 節子 さん**

プログラム 5月15日(月)～19日(金)は、春季宗教強調週間です。

* 5月15日(月) 名誉学位授与式・記念講演 13:00～14:30 (砂本記念講堂)

講師紹介

講師：**サーロー 節子さん**(カナダ在住の被爆者、反核運動家。本学同窓生)

1932年生まれ。広島女学院大学英文学部英文学科卒業生。

広島女学院高等女学校2年生の時に爆心地より1.8km離れた学徒動員先で被爆。

1954年に本学卒業後、米国、カナダに留学。以後、カナダに永住。1965年よりトロントにて社会福祉の専門家として、教育・医療の分野にて活躍。カナダで最高の名誉であるカナダ勲章を受章した。原爆にまつわる自身の経験を英語で伝える証言活動を長年続ける。2014年「ひろしま平和大使」に就任。ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）が2007年に発足した時から行動を共にし、ICANの「顔」として、国際会議や国連での核兵器禁止条約交渉会議で被爆者としての体験を語ってきた。2017年7月7日の国連本部での核兵器禁止条約採択に貢献。同年12月にICANのノーベル平和賞授賞式で受賞演説を行った。



* 5月16日(火)「キリスト教の時間」 13:00～13:45 (砂本記念講堂)

「被爆ヴァイオリンコンサート」

盛田 恵さん、山本 京子さん

被爆ヴァイオリン紹介 西原 真理子さん(本学歴史資料館 元職員)

演奏者紹介

盛田 恵さん(ヴァイオリン演奏)

広島市出身。広島女学院高校から京都市立芸術大学音楽学部へ進学。卒業後広島交響楽団に入団し、2023年4月に退団。

最近はおケストラ演奏だけでなく、アンサンブル活動やソロでのライブ出演、また、地元のミュージシャンとのライブ共演やCD録音のゲスト演奏など、クラシック音楽以外の活動の場も広がっている。アコースティックデュオ「さらさ」とコラボのCDを2015年に「ちいさなしあわせ」、2020年に「シャロンヌ」を制作。故奥平弘和氏、故岩淵龍太郎氏に師事。一般社団法人日本弦楽指導者協会会員。

山本 京子さん(ピアノ伴奏)

広島生まれ。エリザベト音楽大学卒業。ピアノ講師。

これまでにピアノを故池上昭子、福岡早苗、パイプオルガンを戸澤真弓に師事。



盛田 恵さん



山本 京子さん

◆学内献血 5月26日(金) 受付 12:30～16:30 (ヒノハラホール前)

2023年度第23回キリスト教主義大学ジョイント8.6平和学習プログラムのご案内

今年で23回目を迎えます「キリスト教主義大学ジョイント8.6平和学習プログラム」についてお知らせします。このプログラムは、本学学生と宗教委員会が他大学に参加を呼びかけて、ともにこの被爆地ヒロシマを舞台に平和の問題を考える集いです。例年、8月5日から2泊3日で実施され、朗読劇、被爆証言、原爆資料館見学、平和公園巡り、広島平和式典参加、ディスカッションなどを行います。コロナウィルス感染症予防のため2020年度は中止、2021年度と2022年度はオンラインで開催しました。今年度の詳細は未定です。

実施に際しては、企画から実施まで、このプログラム全般にわたって活動する参加者を募集予定です(宗教センターのハンドブック、P14もご参照ください)。

問い合わせ・申し込みは、宗教センターまで。
Tel: 082-228-0415 Mail: hjucac@gaines.hju.ac.jp



* 詳細は未定。決まり次第、ポータル等を通じて連絡しますのでご確認ください。

キリスト教に基づくエッセイ 51

讃美歌を心でうたう

人間生活学部 管理栄養学科 渡部 佳美

中学校から広島女学院で学び、キリスト教に触れるとともに、礼拝では讃美歌を歌う機会をいただいた。私にとって讃美歌は心の声を代弁し、前向きに物事を捉えるための指針として、日常生活において大きな存在となっている。

朝の礼拝でよく歌った讃美歌に第二編 26 番「ちいさなかごに」がある。この 2 番の歌詞の『おはよう』とのあいさつも心をこめて交わすなら、その一日お互いによろこばしく過ごすでしょう』は、私が心の中でしばしば歌っているフレーズである。また、歌詞は「愛の技は小さくても神の御手をはたらい、悩みの多い世の人を明るく清くするでしょう」と続く。儀礼的になることや、そのまま通り過ぎてあいさつをしない場面もあるが、あいさつがもつ力をこの歌を繰り返すことで心に留めている。

教育委員会に勤務していた頃、ある校長先生から朝のあいさつ運動について伺い、感銘を受けた。朝、正門で子どもたちに「おはよう」と声をかけることで、子どもの様子を押し量ることができる。その子に合わせた声掛けで、一日の過ごし方が変わってくる。子どもには様々な家庭生活があり、全員が元気に登校しているわけではない。朝の挨拶はいち早く状況を把握し、正門で子どもの気持ちを切り替えさせることができる。そのため、校長先生は雨の日も暑い夏の日も、欠かさずあいさつ運動に取り組みされておられた。

昨年度から、日本福音ルーテル広島教会で立野泰博先生が主催されている「るうてる食堂クレヨン」で学生とともにボランティア活動を行っている。この事業は毎月第 2・4 火曜日の夕方に開催されている。



学生の配膳ボランティアの様子～広島女学院高等学校の生徒と共に～

子どもから高齢者までがそれぞれの想いで集まり、食を通じた居場所づくりを目的としており、地域のコミュニティとしての機能も担っている。来場者とボランティアスタッフはあいさつを交わし、同じ空間を共にする。その日初めて来た者も、あいさつ一つでお互いを寛容できる。さらに、食事を供することで、距離が縮まり交流が生まれる。

一般的にこども食堂の取り組みは貧困対策と受け止められがちであるが、実際は異なる。人間関係が希薄化し「無縁社会」とも言われるようになった現代社会において、そこで出会った人々がお互いに関心を持ち、何かあったら助け合える共助の機運を醸成する効果が期待されている。このことは越智誠輝氏が理事長を務める特定非営利活動法人 広島こども食堂支援センターの設立の趣旨に記されている。

まさに、「るうてる食堂クレヨン」は集う人それぞれにとって、心安らぐ居場所であり、共助のしくみが構築されていることを感じている。讃美歌 90 番「父なる神 慈愛」が頭をめぐる。「こども神の御国なれば…」、学生と一緒に活動しながら、心で歌っている。

2023年度宗教委員を紹介します

新年度が始まりました。新入生、上級生のみなさん、広島女学院大学の建学の精神への理解を深め、現代社会のさまざまな出来事を学んでいきましょう。宗教委員会は「キリスト教の時間」、「木曜日チャペル」を始め、多彩な行事と活動を企画していきます。意見や感想など、どんなことでも私たち宗教委員、宗教センター職員に気軽にお寄せください。

大学宗教委員長・宗教センター長

あわづはらあつし

粟津原 淳 先生 (日本キリスト教団教務教師、国際英語学科)

宗教委員

前田 美和子 先生 (日本キリスト教団教務教師、日本文化学科)

Robert Dormer 先生 (国際英語学科)

小松 明日佳 先生 (日本文化学科)

福田 道宏 先生 (生活デザイン学科)

石長 孝二郎 先生 (管理栄養学科)

中山 貴司 先生 (児童教育学科)

宗教センター

今井 妙 加納 暢子



2023年度 前期チャペル表 (4月～7月)

前期主題：「あなたの歩みを主は守られる」(ガラテヤの信徒への手紙6章9節)

“The Lord will protect your steps.” (Galatians 6:9)

*状況に応じて変更になる場合があります。変更については随時ポータルサイトでお知らせします。

月	日	火曜日「キリスト教の時間」 13:00～13:45 砂本記念講堂	司会	木曜日チャペル 12:30～12:50 ゲーンズチャペル
4	11	「賛美歌を歌おう」 ★聖歌隊 賛美歌のお話と歌唱指導 広島女学院大学オルガニスト 広島女学院同窓生、日本キリスト教団讃美歌委員 玉理 照子 先生	石長	13 管理栄養学科 海外フィールドワーク報告
	18	ゲーンズ記念礼拝 コリントの信徒への手紙一 3章6～9節 院長・学長 三谷 高康 先生	前田	20 パイプオルガンコンサート 大学オルガニスト 玉理 照子 先生
	25	前期主題解説 「あなたの歩みを主は守られる」(ガラテヤの信徒への手紙6章9節) 日本キリスト教団教務教師 日本文化学科 前田 美和子 先生	前田	27 管理栄養学科 実験実習助手 水落 由香 さん
5	2	「カルト宗教の危険性について」 中部学院大学 宗教総主事 高木 総平 先生	粟津原	4
	9	瀬戸 麻由 さん (シンガー・ソングライター、Hihukusho ラジオメイン・パーソナリティ)	前田	11 Save the sea プロジェクト活動報告
	15 (月)	名誉学位授与式・記念講演 13:00～14:30 砂本記念講堂 講師 サーロー 節子 さん (カナダ在住の被爆者、反核運動家。本学同窓生)		
	16 (火)	キリスト教の時間 13:00～13:45 砂本記念講堂 「被爆ヴァイオリンコンサート」 盛田 恵 さん (ヴァイオリン演奏)、山本 京子 さん (ピアノ伴奏) 被爆ヴァイオリン紹介 西原 真理子 さん (本学歴史資料館 元職員)		
	18 (木)	木曜日チャペル ※オンライン授業期間につき中止		
6	23	當山 敦己 さん(ここいろhiroshima 共同代表)	福田	25 生活デザイン学科 永野 晴康 先生
	30	三輪 康志 さん(るうてる食堂クレヨン シェフ)	石長	5月26日(金)◆学内献血 12:30～16:30 ヒノハラホール前
	6	ハツヤ レイコ さん(夕焼けぼっぼ食堂 代表)	中山	8 院長・学長 三谷 高康 先生
7	13	「あなたとあえたから」 清胤 祐子 先生(浄土真宗本願寺派 正覚寺坊守・安芸太田町教育長職務代理)	福田	15 国際英語学科 Robert Dormer 先生
	20	沖縄慰霊の日を祈念して 沖縄県人会顧問 中村 盛博 さん 本学名誉教授 桐木 建始 先生 沖縄県人会・南風 (ふえーかじ) のみなさま	小松	22 児童教育学科 中山 貴司 先生
	27	本学同窓生からのメッセージ 荒瀧 祥子 さん (広島 YMCA 外語学院職員、2015年 文学部 英米言語文化学科卒)	中山	29 日本文化学科 学生活動報告
7	第57回原爆講座 -8.6の意味するもの-			
	4	被爆の実相を学ぶ 切明 千枝子 さん(広島市原爆被害者の会 理事、広島県被爆者団体協議会 被爆を語り継ぐ会会員、広島平和記念資料館 被爆証言者)	粟津原	6 児童教育学科 学生活動報告
	11	本学同窓生からのメッセージ 土屋 時子 さん (本学元職員、Hihukusho ラジオナビゲーター、広島 文学資料保全の会代表、1971年 文学部 日本文学科卒)	石長	13 チャペルオルガニストによる オルガンピースコンサート
	18	日本キリスト教団 広島古市教会牧師 庄司 翼 先生	福田	20 管理部 蒲原 靖男 さん
	25	「前期を振り返って」 大学宗教委員長・宗教センター長 粟津原 淳 先生	粟津原	27 交換留学生 Kelsey Joy Wurster さん

※ 「キリスト教の時間」 オルガニスト：玉理 照子先生(大学オルガニスト)